



【ポストコロナのディスプレイ技術と電子産業を考える】 第二回 日中 BIZ Forum オンライン会議

迅速なコミュニケーションが図れるオンラインを活用し、日本と中国の電子産業界の情報共有と交流を目的とした本 BIZ Forum の第二回を開催致します。日中の電子産業は、両国の産業協力が重要であり、そのベースとなる互いの技術情報および産業動向をシェアできる様、双方からの講師が登場し、最先端技術の紹介および電子産業の分析をそれぞれの立場からおこないます。

今回は、コロナ禍の中にあっても着実に開発が進んでいるディスプレイの最先端技術を、開発のトップを走る日中のデバイスメーカーから講演して頂きます。さらに、電子産業界の動向に関しては、ポストコロナの方向を日中双方の立場で分析致します。

ポストコロナに向けた方向を模索している皆様におかれましては、これらの情報を是非活用して頂きたく、多くの方々のご聴講をお待ちしております。

開催内容

開催日時： 2020年10月9日（金曜日）午後1時30分 開始～午後5時 終了予定

開催方法： ビデオ会議ツール「ZOOM」による Online Conference

視聴に必要な URL は、お申し込み登録完了メールにてご案内いたします

聴講費用： 30,000 円（税込み） または 2,000 人民元（税込み）

聴講定員： 100 名

テキスト： 開催前に事前送付いたします（講演にて内容が追加される場合があります）

Q&A：講演中のチャット方式での受付、および講演後に質問時間を設けます。

申込サイト： <https://jinshuju.net/f/AsD7Po>

主 催： テック・アンド・ビズ(株)、上海实邑文化传播有限公司/（株）Verydigi 東京支社

後 援： 中国光学光電子行業協會液晶分会

問合せ先：テック・アンド・ビズ（株）北原洋明、 hirokitahara@tech-and-biz.com

上海 Verydigi 鄭敏、 zhengmin@verydigi.com

プログラム

13:30～ 開会の挨拶と会議進行の説明

司会 テック・アンド・ビズ(株) 代表取締役 北原洋明

【ディスプレイ最先端技術動向】

① 13:35～14:15 「Development of BD Cell and its applications」

BOE 集団高級副総裁(SVP)首席製品官(CNPO) 邵喜斌 氏 (中国語講演→日本語同時通訳)



<経歴> 中国科学院長春物理研究所(凝縮系物理学、condensed matter physics)にて博士号を取得。1994年～2006年、中国科学院長春物理研究所、日本の東北大学、吉林北方彩晶ディスプレイ有限公司に就職。2006年に京東方科技グループに入社し、戦略企画本部副総監、中央研究院研究開発総監、京東方科技ディスプレイ技術製品開発総監、京東方科技ディスプレイデバイス事業グループ DT 開発本部総監、TV 開発本部部長、IT/TV 製品開発副センター長、IT/TV 製品開発センター長、首席製品官、共同 CTO を務める。現在は、京東方科技 Display & Sensing Devices 事業部、首席製品官(CNPO)。

② 14:15～14:45 「3.9 インチ LTPS TFT 基板によるフルカラーMicro LED ディ스플레이の開発」

京セラ(株) 先進マテリアルデバイス研究所 薄膜デバイス開発部 横山 良一 氏



<経歴> TFT 基板の設計を専門とし、液晶、OLED のディスプレイ開発に携わる。1982年に三洋電機に入社し、1997年には業界初の LTPS TFT 液晶の量産化に取り組み、2000年には LTPS TFT を用いたフルカラーAM OLED ディ스플레이の開発に成功。それ以降、LTPS 技術を用いたメモリ液晶と新駆動方法の開発に取り組み、最近では京セラで 3D HUD やマイクロ LED ディ스플레이の開発に取り組んでいる。

【ディスプレイおよび電子産業の行方】

③ 14:50～15:30 「中国ディスプレイ産業のグローバル競争力」

CINNO Research ディ스플레이産業首席アナリスト 周華氏（中国語講演→日本語同時通訳）



＜経歴＞上海交通大学電子工程、修士卒業。ディスプレイ産業において15年間の経験を持つ。パネル工場の立ち上げや製造プロセス設備管理において豊富な経験を有し、材料や設備分野での高い技術背景および産業チェーンの豊かなネットワークを活用して、CINNOでディスプレイパネルや半導体材料および設備の産業分析を担当している。

④ 15:30～16:20

「コロナ・米中覇権戦争をチャンスに：シャープ・鴻海が示唆する日中電子産業の針路」
立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 客員教授 中田行彦氏



＜経歴＞1971年神戸大学大学院卒業後、シャープに入社。以降、33年間勤務。液晶の研究開発に約12年、太陽電池の研究開発に約18年、その間、3年間、米国のシャープアメリカ研究所など米国勤務。2004年から立命館アジア太平洋大学の教授として、技術経営を教育・研究。2009年10月から2010年3月まで、米国スタンフォード大学客員教授。2015年7月から2018年6月まで、日本MOT学会企画委員長。2017年から立命館アジア太平洋大学 名誉教授・客員教授。京都在住

⑤ 16:20～16:55

「リアルに回帰しクラスター構築を加速する中国ディスプレイ産業と日本企業の立ち位置」
(本フォーラムの主旨とポストコロナの方向を主催者の立場でお話し致します)

テック・アンド・ビズ(株) 代表取締役 北原 洋明



<経歴>2006年12月より、テック・アンド・ビズ(株)を立ち上げ、ディスプレイ、LED、太陽電池、半導体などの電子デバイス関連の情報サービス活動、ビジネスマッチング等の活動を行っている。製造拠点および巨大な市場であるアジア各地の現地での生情報を重視すると共に、中国光学光電子行業協会液晶分会、中国深圳ディスプレイ協会、その他の中国・台湾・韓国の業界組織とも連携をとりながら日系企業の現地での活動支援、セミナー・展示会などのイベント開催、企業訪問アレンジ等も行っている。

16:55～ クロージング